

Sakai Commercial Affiliate メンバーとしての日本版 Sakai 展開 Contribution to the Japanese version Sakai as a Sakai Commercial Affiliate

吉田光男
兼松エレクトロニクス株式会社

あらまし：弊社は2010年12月にSakai Foundationに承認頂き日本初のSakai Commercial Affiliateになった。本報告では弊社がSakai Commercial Affiliateメンバーとして国内でどのようにサービス展開して行くかを紹介する。

1. はじめに

近年、少子化を始めとする外部環境の変化により、大学においても競争力の強化が求められてきている。今日の大学では、研究力と教育力の向上において差別化を図ることが最重要施策となっており、その教育をきめ細かく、かつ効率的に行うために欠かせない基盤が、授業支援システムである。その中で弊社がオープンソースCMSのSakaiに取り組んだ理由は、本ソフトウェアがスタンフォード大学やミシガン大学、ケンブリッジ大学など世界トップレベルの大学で採用されていること、そして各大学がコミュニティに参加しており⁽¹⁾、このコミュニティが抱える世界的に優秀な技術が日本の大学で利用できることは極めて有効であると考えたからである。

2. 日本初 Sakai Commercial Affiliate

弊社は日本初のSakai Commercial AffiliateとしてSakai Foundationや日本国内のJa-Sakaiコミュニティと連携し日本においてSakaiの普及活動に貢献する所存である。海外では既に幾つかの企業がSakai Commercial Affiliateになり、各国の大学に商用サービスを展開している。弊社も同様にSakaiを基にした情報サービスを国内の大学向けに展開していく。

3. Sakai Commercial Affiliate としての支援

弊社はCommercial Affiliateとして以下のサービスを日本国内の大学に提供していく予定である。

- 1) 日本の大学が必要とする機能開発
- 2) Sakai システム環境のスポット構築支援
- 3) システム導入後の運用支援
- 4) クラウドサービス展開

本稿では弊社が特に注力する3)と4)について詳細を述べる。

4. 日本の大学が必要とする機能開発

法政大学と弊社にて共同開発したSakaiの新規機能について幾つか紹介する。今回開発した新機能は日本の習慣に基づいて「時間割」の概念を追加した。Sakaiでは通常カレンダーの機能でスケジュールを管理するが、日本特有の機能を追加したこの日本版Sakaiでは日本人が慣れ親しんだ「何時間目」や「何時間目」といった時間割の概念で管理することができるようになっている。

また新たにPC以外のアクセス方法として日本の携帯電話に対応し、「大学や講義からのお知らせ」や

「タスク（課題一覧表示）」を国内3社の携帯電話機からアクセスすることができるようになった。携帯電話はクリッカーとしても利用することができる。

さらに教務システムとの連携を考え外部連携機能を新規開発した。なおデータベースにオープンソースソフトウェアであるMySQLを採用し、わずかなサブスクリプション費用でデータベースを利用することができる。新規機能以外では操作性を向上させるための修正や日本語プロパティの更なる強化を実施した。この様に弊社としては大学が必要とする機能や日本特有の機能を大学の要望を実現するためのアプリケーションを新規または追加開発する。また「2) Sakai システム環境のスポット構築支援」としてオープンソースCMSの環境構築と「3) システム導入後の運用支援」としてオープンソースを自力で運用することが困難な大学に対して運用保守サポートを提供する。

5. クラウドサービス展開

オープンソースCMSや海外を含めた著名な大学で使用しているSakaiに興味があるが、学内での運用サポートを考えると中々導入に踏み切れない等の問題を抱える教員を対象に年間最小限の運用費用で利用できるクラウドサービスをゼミや研究室単位で展開したいと考えている。勿論、同時に大学単位やキャンパス単位のご契約も準備し、日本全国のSakaiユーザに対し日本特有の機能をサポートしたSakaiをサービス展開していく。

6. おわりに

この度Sakaiの日本版を法政大学と開発し、日本の大学特有の機能を組み込んだことは日本における全学規模でのCMSの波及に大きく貢献するものと確信している。またクラウド対応により教員様単位で加入できるサービスを展開することで更なるSakaiの波及に貢献していきたい。弊社はこの度日本初のSakai Commercial Affiliateとなり、オープンソースCMSを利用しコストと拡張性に優れた情報サービスを提供して行くことで、Sakaiの日本での普及に注力すると共に、日本における教育の質の向上や大学における業務効率化を支援していけるものと考えている。

参考文献

- (1) Sakai Project HP, <http://sakaiproject.org/>